

1 久しぶり……それと、

2 誕生日おめでとう。

3
4 ……うん。 大丈夫。

5 相変わらず忙しいけど、

6 流石に彼氏の誕生日くらいは……さ？

7
8 「そっけない」って……私が？

9 そうかな……？

10
11 ……。

12 確かに、そうだったかも……。

13 誕生日なのに……ごめんね？

14
15 ごほん…っ。

16 なんか、雰囲気悪くしちゃったね。

17 気を取り直して、お祝いしよ？

18 いつも通り、仲良く……。

19 だって私達、恋人なんだしさ……。

- 1 うん、恋人……恋人なんだよね……。
- 2 それでさ……プレゼントなんだけど……
- 3 はい、これ。
- 4
- 5 ……うん、そうだよ。
- 6 この音声ファイルがプレゼント。
- 7 ねえ、なんのファイルだか分かる？
- 8 名前に日付が書いてあるでしょ？
- 9 最後に君と会ってから2日後……
- 10 この日にまた、先輩に抱かれたの。
- 11
- 12 何をプレゼントしたら一番喜んでくれるか、
- 13 ずっと前から考えてて……と言っても、
- 14 言い出しっぺは先輩なんだけどさ。
- 15
- 16 「俺とエッチしてるところ、
- 17 また録音したら喜ぶんじゃない？
- 18 彼氏君に内緒で、サプライズ」って言われて、
- 19 その提案に乗っかってみたんだ。

1 ……その顔、どっち？

2 嬉しいのか、それとも……

3 ……あつ。

4 おちんちん、今日も元気……

5 喜んでくれた……って事だよね？

6 じゃあまたこれ、一緒に聞きこつか。

7 はい、イヤホン。今日は私の使おう？

8 やっぱり有線のほうが好きだな。

9 こうやって、ずっと近くにイれるから。

10 ねえ見て、私の人差し指。これを……

11 はあむ……

12 ぢゆる……れろ、れろ……ぢゆるう……

13 親指も……はあむ……

14 ぢゆる……れろ、れろ……ぢゆるう……

15 ……
16 ……
17 ……
18 ……
19 ……
そしてこの2本の指で輪っかを作って……

1 はい、これ自由に使っていいよ。

2 好きでしょ？ ーううの。

3 だって高坂く……先輩も、
「うや」

4 「彼氏君マゾだろうからきつと喜ぶよ？」

5 って言ってたし。

6
7 誕生日だから……これもプレゼント。

8 私のおまんこだと思って、腰へこへこってして？

9 いつもみたいにお耳も気持ちよくしてあげるから。

10
11 おちんちんのほうも完全に準備できたみたいだし、

12 そろそろ再生するね。

13
14 しつこいようですが、勘違いはよしてください？

15 今日することは全部、彼のためですから。

16
17 また「舐めて欲しい」って言われてさ。

18 前に教わった通り……

19

- 1 ぺろ…っ、ぺろ…っ、って、亀頭から裏筋…竿の根本まで、
- 2 舌をゆっくりなぞらせたんだ……。
- 3 そしたら、「もうフェラはお手の物だね」って。
- 4
- 5 やめてください、嬉しくないのでから…っ。
- 6
- 7 否定してるけどさ、
- 8 何も言われずともおちんちん啞え込んで、
- 9 ピストンしてるね、私……。
- 10 前の私だったら、考えられないな……。
- 11 先輩の影響…だよな？
- 12
- 13 全然ノリノリじゃないです…っ。
- 14 誕生日プレゼントのためですから。
- 15 この前、先輩の言う事を素直に聞いたのだって、
- 16 彼氏を気持ちよくしてあげたいって、
- 17 モチベーションがあったからであって、
- 18 先輩のために口を動かしたことなくて、
- 19 一度たりともありません。

1 なんか、必死に言い訳してるみたいだね、私。

2 でも本心だから。だって私、

3 小学生の頃からずっと君に片思いしてたんだよ？

4 中学に上がってから…

5 両思いだったって分かったあの日、

6 どれだけ嬉しかったか分かる？

7 今でも夢に見るくらいなんだから…っ。

9 私の指、気持ちいい？

10 なんかさ……その動き、

11 傍から見るとちよっと面白いね……。

13 ただの指なのに、

14 夢中で腰振ってるからちよっとね…っ。

15 で、でも嬉しいな。

16 こんなに興奮してくれて。

18 相変わらず、カウパー多いですね…っ。

19 口の中ヌルヌル…っ。

1 「気持ちいから」？

2 そ、そうですか…っ。へえ…っ。

3 それなら、また彼が喜んでくれそうですね…っ、

4

5 口の中の空気を吸いあげて、

6 ピタッとおちんちに吸い付くようにして、

7 前後にピストン運動。

8 こうすると気持ちいんだってね？

9

10 ねえ、君もして欲しい？ これ。

11 ごめんね。コード短めだから、

12 こういう激しい動きはできなさそう。

13 今日はこの指わっかで我慢して？

14

15 こんなふうに、

16 フェラさせながら悪戯してくるんだよ？

17 いきなりおまんこに指突っ込まれて、

18 中をグチャグチャにかき回されて……。

19

- 1 なんかさ、初めてされたときより、
- 2 気持ちよかったんだよね。
- 3 先輩と出会ってから、
- 4 どんどん身体が敏感になってて……。
- 5 だから簡単に――
- 6
- 7 ん ん っ つ ゝ ゝ ゝ ゝ っ ……!
- 8
- 9 ――イカされちゃったんだ。
- 10 先輩のほうもそろそろだったみたいでさ……。
- 11 「休むな」とか言いながら、
- 12 後頭部を掴んできて、そのまま無理やり――
- 13
- 14 ぢゅるっ、ぐぽっ、ぐぷっ、 ん う っ、ぢゅる、ぢゅるッ!
- 15
- 16 ――おちんちん出し入れされたの。
- 17 ほっぺをぶくーって膨らませながら、
- 18 お口のサイズに合っていないおちんちんを、
- 19 何度も何度もズボズボ。

1 君の腰も、つられて速くなってるね。

2 <こ<こ<こ>、<こ<こ<こ>。

3 そう、そんな感じ……。

4

5 自分の事しか考えてないような乱暴な腰使いで、

6 喉奥までおちんちんねじ込まれて、

7 そのままお口の中に――

8

9 ―んっぶっ、ううううううん……っっ！

10

11 ―びゅー、びゅっびゅー、びゆるるる、

12

12 って精液を吐き出されちゃったの。

13 しかも、「溢こぼすなよ？」って怖い顔で言うもんだから、

14

14 飲み込むしか無くて……。

15

15 生臭くて、変な味だったな……。

16

17 んぐ、ぐきゅ、ぐっきゅん、ぐっきゅん……っ。

18

18 ぶっはっあ……っ。

19

19 美味しくない……っ。先輩なんて、やっぱり嫌いです……っ。

1 このファイルは、ここで終わり。

2
3 でもね……見て？

4 他にもあるんだ…こんなにいっぱい…。

5 「沢山録音しておけば、

6 その分喜んでくれるんじゃない？」

7 って言われて、確かにそうだなって思ったから。

8
9 流石に、今から全部聞くのは大変だから……

10 次はこれ聞こっか。 この日付…分かる？

11
12 そう、電話くれた日。

13
14 ごめんね？ すぐに出れなくて……んっ。

15 一か月ぶり…くらいかな…っ？ 久しぶり…っ。

16
17 この日、こっそりエッチしてたの。

18 気づいてた？

1 ……うん、私も声聞きたかった…っ。

2 全然会えなかったから…っ。

3 最近、色々と忙しくてえ……う…っ。

4 バイトとか…さ…っ。

5
6 プレゼント当日まで内緒にしておきたかったから…っ。

7 バイトだなんて嘘ついてごめんね？

8
9 ……今？ えっと……んっ。

10 バイトの準備してた…っ。

11
12 でも正直、こうして自分で聞いてみると、

13 バレバレ……だったね？

14
15 う、うん…っ。

16 そろそろ時間だからさ…っ。

17 せっかく掛けてくれたのに、ごめんね…っ？

18 少しでも、声聞けて良かったよ。

19 それじゃあ、また――

1 | ついやあ…っ♡

2 い、今は…っ。ねこ…っ、猫が…っ。

4 いきなり乳首摘まんでくるからビックリして。

5 咄嗟の言い訳にしては上出来だったでしょ？

7 こらっ、悪戯しちゃダメでしょ…っ。

8 うちの子、甘えん坊だから…っ。

10 急に腰の動きを速くされたから、

11 まずいって思って、慌てて通話を切ったの。

13 そういことで…っ、

14 もう間に…っ、合わなくなりそうだから…っ。

15 また…あっ！ またね…っ！

17 でもエッチは終わらなくて……

18 続きがあるから、このまま再生するね。

19

1 はいっ、切りました…ッ！ 電話…んんっ！

2 つく、うつ、あっ、だからもっとお…ッ！

3 もっと突いて…っ！ ツ、つつ、っんうつ！

4

5 「もう声出していいよ」って優しく言われて……

6 我慢してた反動でいっぱい出しちゃったんだ……卑猥な声。

7 それに、卑猥な言葉も……。 突いて……奥まで。

8

9 突いてっ、うつ、つつ、くうつ、奥までっ、んっ、んぐっ！

10 あっ、あっ、はあっ、おちんちんっ、っんうつ！

11 うっ、すっおっ、おっ、っう、んっ、んう……っ！

12

13 ショック？

14 自分の彼女が、こんな事言ってる。

15 実はこの音声、

16 さっきの録音から2週間くらい経ってるんだよ？

17

18 そっすきいっ、うつ、つつ、くうつ、んっ、んぐっ！

19

何度も先輩と身体を重ねて……

その度に、

どんどん大胆で積極的な気分になっちゃって。

どうしてだろうね？

うっ、っく、いっく…っ。
イクっ、イクっ、

いくいくいつ

[illegible]

やめないでえ…っ。

もつと……っ、もつとおちんちんくださいっ。

二ついう事言う度、

「そのセリフ、きっと彼氏が喜ぶよ」　　って先輩が。

同人音声サークル【Vぱれっと】

1 次は、このファイルも再生してみるね。

2 今の録音からさらに、2週間後くらいに録ったやつ。

3 日付見ると分かるよね……つまり昨日録ったって事。

4
5 なにこれ…っ、ん…っ、

6 いつもと全然違う…っ。

7
8 この日は、「生でしたい」って言われて。

9 外に出すことを条件に了承したの。

10 だって、散々私のプレゼントのために付き合わせたから、

11 少しくらいお願い聞いてあげようと思って……

12
13 てのはい言訳だね。ごめん。

14 本当は、生でしてみたかったの。

15 君としたこと無かったから……

16 ひどいよね？ 私……。

17
18 はい、分かりました…っ。

19

1 「彼氏君に、生の感覚教えてあげれば？」ってさ。

3 う……っ、いつもより、おちんちんが…あっ。

4 ぬるぬるして…っ、んう…っ。

5 摩擦…？ が少ない感じで…っ。

6 先っぽの出っ張りが、良く分かるの…っ。

7 それすきっ、あっ、あっう、あっ、ああ…っ！

8 速いのすきいつ、うっ、っっ、くうっ、んっ、んぐっ！

10 流石に私も、君に申し訳ないと思ってたよ？

11 この日だけの話じゃなくて、最初から。

12 だって彼氏に内緒で会ってるんだもん。

13 子供の頃から大好きな人を放って、

14 たった数か月前に初めて会った男と密会。

15 バイトしてるなんて嘘ついて何度も何度も。

17 ごめんっ、ごめんねっ、あっ、あっ、うっ、んう…っ！

18 外にっ、外に出してもらっからっ、うっ、っっ、っ、んっっ！

19 許してえっ、あっ、あっ、はあっ、ッ、っっ、っんうっ！

1 これは彼氏のためだからって、

2 自分に言い聞かせながら何度も繋がって、

3 その度に罪悪感で胸が苦しくなるんだけど――

4

5 あっ、はっ、あ、あ、っく、んうつ、う、…っつ。

6 っく、いっぐ、いぐいぐいっ……

7 っぐううううっつっ！

8

9 ――気持ちいから会いに行くのやめられなかったよ。

10

11 だって、ただ大きいだけじゃなくて、

12 腰の振り方もすごい上手なんだよ？

13 それに長持ちするから、沢山できるし。

14

15 ねえ、どうしてさっきから、

16 そんな情けない腰振りしてるの？

17 先輩みたいに、おちんちん強いとこ見せて？

18

19 先輩…っ、キスも……。

1 自分からキス求めるなんて、

2 始めは考えられなかったな……。

3 私、君が思ってるような清楚な女の子じゃないの。

4

5 ……というより、「そうじゃなくなった」って、

6 言った方が正しいのかな？

7 快楽にとろけきったスケベな顔晒して、

8 よだれを垂れ流しながら、

9 おちんちん受け入れてるんだよ？

10

11 そこら中に潮まき散らしながら、

12 シーツびしょびしょにしてもお構いなしで、

13 ずっとセックスに没頭。

14 こんな私、君に見せたことないよね？

15 だって――

16

17 ぐんぐんつつく………!!

18

19 ――こんなふうにかせてくれたことないもんね？

1 身体は満足させてくれなくても、

2 君の事は好きだから……人として。

3 先輩の事は、人として……というより……。

4 ……まあいいや。

5
6 もう一回……っ。

7
8 実はね……今日、確かめに來たの、

9 自分の本当の気持ち。

10 本当に君のために先輩とエッチしてきたのか、

11 それともエッチの口実に、

12 君を使ってたのか……。

13
14 考えるたびに胸が苦しくなって……

15 でも先輩と会って、そんな苦しさが無くなって……

16 今日までずっとその繰り返しだったから。

17 自分の気持ちがいからなくなってたんだ。

18
19 もしかしたら――

——先輩の事好きかもって、考えちゃったりして。

気持ちよくなるんだと思ってたけど、

「ごめんね…っ。」

おちんぽ、もつとください……っ。

プレゼント渡して、いっぱい会話して、

やっぱり君の事が大好きなんだって、

再確認したくて……

いつも通り振舞ってみたんだけど。

でも今はもう、ハッキリわかっちゃった。

私は――

あッ！ つんああゝゝつっ！

1 — 高坂君の事が好き。

3 その情けない動き見てたら、気づいちゃった。

4 だって、普通怒ったり、焦ったりするでしょ？

5 それなのに、指相手にみつともない腰振り続けて……。

6 私の事、大切に思ってないよね？

7 彼は、私の事ひとに寝取らせたりしないし、

8 大事にしてくれるの。

10 そろそろ出ますか？ 分かりました。

11 中に出さなければ、別にどこでも……。

12 いいですよ……来てください。

13 今日で最後ですね……っ。 んう……っ。

14 明日、彼氏の誕生日なので……っ。

15 もう、こうして先輩と会う理由も無くなります。

17 何その顔……もしかして、別れたくないの？

18 ……じゃあチャンスあげる。

19 もっと思いつき突いて？

1 でも、許可するまでイクのは我慢……。

2 彼みたいに、強いおちんちんだって見せつけて？

3
4 本当に、これで最後なので……

5 思いつきり突いてください……っ。

6
7 うっ、あっ、はっ、あッ、っっ、っんうっ！

8 あっ、あっ、はあっ、おちんちんっ、っんうっ！

9 うっ、すっごおっ、おっ、っう、んっ、んう……っ！

10 っく、うっ、あっ、しょっ……ッ！

11 おく……っ！ ツ、っっ、っんうっ！

12
13 んっ？ もう出ちゃうの？

14 まあ、それだけ激しくしたら無理も無いか。

15 彼も確かこの時――

16
17 好きっ、うっ、っっ、くうっ、奥すきいつ、んっ、んぐっ！

18 あっ、あっ、はあっ、ツ、っっ、あっ、ああっ！

19

1 もう出るっ！ 出ちゃう出ちゃうっ！

2 って必死に言ってたよ。

3 でもね、私もまたイけそうだったからさ――

4
5 抜かないでっ、抜かないでえっ、

6 うっ、っっ、くうっ、んっ、んぐっ！

7
8 ――抜かないで、抜かないでえ…って、

9 おねだりしちゃった。

10
11 中で…っ、ッ、っっ、っんうっ！

12 中でいいですからあ…っ！

13
14 しかもね、

15 この時すっごく気分が高まってたからさ。

16 さらに大胆な事、口走っちゃったの。

17 今まで絶対言わないようにしてた事……

18 好きです……大好きです……中にください……

19

1 好きです…っ、ツ、っっ、っんうっ！

2 大好きです…っ！ あっ、あっ、はあっ、

3 ツ、っっ、あっ、ああっ！

4 中にください…っ！

5
6 ……って。

7 君も中に出したいよね？

8 どうせ我慢できないでしょ？

9 びゅー、びゅっびゅー、びゅるるー…。

10 とぅじとぅじとぅじ…。

11
12 —っぐゝっぐっぐっぐゝゝゝゝっっっ！

13 ……う…っ。 おゝゝっ。 あ……っ。

14
15 はあー……。

16 やっぱり我慢できなかった……。

1 今のは何かの間違いだから……。

2 ごめんね……君の事、好きなのはだから。

3 明日会いに行くね。

4 そうすればきっと、好きって気持ち、

5 思い出せるから。

6

7 君の事、好きだったよ……人としては。

8 でも、異性として……本能で好きなのは、

9 高坂君の方だったみたい。

10

11 またね……次は幼馴染として。